

内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)を受けられる方へ

(

様)

	前日(/)	検査当日 (/)			1~3日目
		検査前	検査中	検査後	
目標	・検査や治療計画がわかる			・痛みが軽減する ・腹部の張りがない	・痛みが軽減する ・腹部の張りがない
内服	・ワーファリンなどの血の流れをよくする薬は中止となります。 ・その他のいつも服用している薬は飲んでください。	・内服は服用することができません。 ・血圧、心臓、喘息、糖尿病などの薬や注射は医師の指示に従ってください。			・内服は医師の指示に従ってください 
注射		・右手に点滴の針を入れます。 ・検査前から点滴をゆっくり開始します	—3階内視鏡室にて— ・検査直前に肩の筋肉注射があります。 ・苦痛のないよう点滴使用し、眠っている間に検査をおこないます。	・点滴があります。 	・点滴があります。
処置・検査		・検査にでる前に義歯、眼鏡をはずしてください。 湿布やピップエレキバンははずしてください。 ・ボタンのついたシャツやパジャマは着がえていただきます。 ・弾性ストッキングを着用します	・カメラを入れる前に麻酔のスプレーをかけます。にがみがあり、のどがしびれてきますが安心してください。 ・検査中、後に体の位置をかえて何枚かレントゲン写真を撮ります。 ・病棟の看護師は傍に付き添い患者様の痛みの程度や状態を観察しています	・病室に戻ったら、酸素吸入・心電図モニターをつけます。時間毎に体温・脈拍・血圧を測定します。	・酸素吸入・心電図モニター・弾性ストッキングは医師から許可があれば、はずせます。
食事	・午後9時以後は食べたり、飲んだりできません。	・飲んだり食べたりすることはできません。 		・指示があるまで食べたり飲んだり出来ません。 ・のどのしびれがとれたらうがいが出ます。	・許可があれば、1日目水分・2日目3分粥・3日目軟らかめのご飯になります。
安静	・自由です。			・痛み止めを使用している為、しばらく安静が必要となります。	
排泄		・検査に出る前排尿をすませてください。 		・薬の影響でポーっとしてふらつきが強い状態です。トイレに行きたいときはナースコールを押してください。 ・尿器やポータブルトイレで排尿していただくことがあります。	・許可があればトイレ歩行可能です。 
清潔	・入浴の許可がでている方は入浴しましょう。				・シャワーは食事が5分粥以上で、許可があれば可能です。
説明	・同意書を提出してください	・ご家族の方は、待機をお願いします。	・つらい時は、痛み止めを使用しますのでお知らせください。	・検査後お薬の影響でのどが渇いたり、尿が出にくいことがあります。数時間でよくなります。	

※これはあくまでも予定です。場合によっては予定通りにいかない事もありますので御了承ください。

福井県立病院 消化器内科 2014・9月改訂